

広岡よしき通信

「夢・笑顔・元気いっぱい寝屋川市」



平成23年2月号

Yoshiki's News Letter

Vol.6



Profile

廣岡芳樹(ひろおか・よしき)
56歳

昭和29(1954)年
5月10日
寝屋川市高宮に生まれる

- ・寝屋川市立東小学校
- ・寝屋川市立第一中学校
- ・大阪府立寝屋川高校
- ・大阪市立大学経済学部
卒業

《職歴等》

- ・四條畷市役所勤務
(昭和54年4月)
(人事・財政・福祉・国民
健康保険・企画を担当)
- ・四條畷市役所退職
(平成18年3月)
元企画調整担当課長
- ・寝屋川市消防団員21年

《趣味》

読書・雅楽・ツーリング・
骨董鑑賞・地震研究等

これからの寝屋川市のまちづくり 第5次寝屋川市総合計画

平成21年10月30日を第1回目として、以降、20回にわたり議論を重ねてきました「第5次寝屋川市総合計画」の原案が、平成22年11月8日に南部総合計画審議会会長から市長に答申されました。それを基にして、平成22年12月議会に「第5次寝屋川市総合計画基本構想の制定」が議案として上程され、市議会では11名の議員による特別委員会を組織し、12月7日と8日の2日間にわたる審議を行い、賛成多数で可決されました。12月20日の本会議においても可決され、平成23年4月から新しい総合計画による寝屋川市のまちづくりがスタートします。この計画は平成23年度から平成32年度までの10年間の計画であり、「魅力と活力にあふれる元気都市 寝屋川」を目指すべきまちの姿と定めています。まちづくりの方向性としては、「1. 安全で安心できるまちづくり 2. 健康でいきいき暮らせるまちづくり、3. 夢を育む学びのまちづくり 4. 快適でうるおいのあるまちづくり 5. 環境を守り育てるまちづくり 6. 活力あふれるにぎわいのまちづくり 7. 市民が主役のまちづくり 8. 将来を見据えた自治経営」を柱としています。これらをまちづくりの大綱として前期5年間に多くの施策を実施していく予定です。この計画の大きな特徴としては、たくさんの市民意見が反映されていることや市の財政収支計画と整合した計画になっていることです。私は、総合計画審議会委員として審議に参画し、四條畷市第5次総合計画作成に企画調整担当課長の立場から関わった経験を基礎として様々な意見を述べてきました。出来上がった計画に対する感想としては、これからの「寝屋川市のまちづくり」とっては、財政収支計画と整合のとれた、実効性のある、良い計画ができたと思っています。今後は計画の運用について成果が問われることから、どしどし政策・施策の提言を行っていきたいと考えています。

編集&発行: 寝屋川市議会議員 廣岡芳樹事務所 〒572-0806 寝屋川市高宮1丁目12番16号

tel&fax: 072-821-4657, mail: hiroyoshikou@cwk.zaq.ne.jp

Copyright (C) 廣岡芳樹事務所 All Rights Reserved.

平成22年度の一般質問に係る質問項目

平成19年度から21年度までの一般質問に係る質問項目については、「広岡よしき通信」4号でお知らせしました。平成22年度においても、全ての機会を活用して、一般質問を行いました。以下に、質問項目を掲載いたします。これまでも、同じ項目について質問をしていますが、内容はその都度、深化していると考えています。また、これまでの質問に対する答弁内容が、実際の施策として実現している事例も数件あり、今後は市政運営の監視と共に、市民福祉の向上に繋がる質問でありたいと考えています。

平成22年6月議会

1. 第二京阪道路の影響について(開通後の環境対策)
2. 市民福祉向上基金について(基金の実効性)
3. 地域医療について(関西医科大学香里病院の位置付け)
4. 国民健康保険制度について(市職員の国保加入の可能性)
5. その他(公衆トイレの現状、設置について)

平成22年9月議会

1. 現政権の政策に対する寝屋川市の対応等について
2. 地方財政制度と政策的経費充当一般財源の配分等について
3. 第5次寝屋川市総合計画と財政収支計画について
4. 教育について(道徳教育と全国学力テストについて)
5. 環境関係計画等の位置付け等について
6. 要綱等行政の実態と限界に係る寝屋川市の見解等について
7. 準防火地域の指定拡大に係る建築確認行政等について
8. 子ども(幼児・児童・生徒)の虐待防止等について
9. 行政手続きの瑕疵(ミス)に対する寝屋川市の対応について
10. その他(職員の勤務時間・休暇の見直しについて)

平成22年12月議会

1. 循環型社会づくりにおける市の廃棄物処理等について(新焼却炉の方向性)
 2. 介護保険制度の運用等について(次期介護保険料算定の方向性)
 3. 子育て支援施策の充実等について(保育所民営化全効果額を子育て支援へ)
 4. カラス対策について
 5. その他(協創について)(市職員と地域との連携強化・市職員の意識改革)
- ※寝屋川市政に対するご意見・ご要望等をお聞かせ下さい。

廣岡芳樹の議会での公式発言数

平成19年度・20年度・21年度・22年度(9月議会まで) (単位:回)

	本会議	委員会	協議会	計
19年5月臨時議会	0	-	-	0
19年6月議会	0	27	-	27
19年9月議会	26	4	10	40
決算特別委員会	-	155	-	155
19年12月議会	29	23	-	52
20年3月議会	12	237	-	249
19年度小計	67	446	10	523
20年5月臨時議会	0	-	-	0
20年6月議会	24	18	40	82
20年9月議会	24	42	40	106
決算特別委員会	-	委員でなし	-	0
20年12月議会	28	37	-	65
21年3月議会	24	242	-	266
20年度小計	100	339	80	519
21年5月臨時議会	0	-	-	0
21年6月議会	2	14	40	56
21年9月議会	9	-	40	49
決算特別委員会	-	委員でなし	-	0
21年11月臨時議会	0	-	-	0
21年12月議会	14	18	-	32
22年3月議会	29	171	-	200
21年度小計	54	203	80	337
22年5月臨時議会	32	-	-	32
22年6月議会	56	文教常任委員長		56
22年9月議会	14	文教常任委員長		14
22年度小計	102	0	0	102
合計	323	988	170	1481

私は、議員としての職務の基本は、市政に対する市民の皆様のご意見やご要望をしっかりと聞きし、迅速かつ十分な検証の後、議会の場、本会議や常任委員会等において発言することが第一と考えています。一期目の議員であればなおさらのことです。したがって、本会議、常任委員会・特別委員会及び各種の審議会・研究会並びに日頃の議員控室等での折衝を通して、行政に対して様々な角度から発言や提言を行ってきました。左の表は平成22年9月議会までに行った、私の発言回数をまとめたものです。議会における行政側や議員の発言は、そのすべてが公式発言として記録されます。過去の議事録を検証し、常に的確な資料や分析に基づく発言でなければならぬと考えています。

※ 表中「-」は開催がなかったという意味である。

※ 平成19年の6月議会は所信表明、また、各年の3月議会は市政運営方針に対する会派代表質問のみであり、一般質問はない。代表質問者に対して担当部門の質問原稿を提出し、一括して質問を行う

※ 協議会はすべて所管事項の質問である。協議会は議事録を作成しないため推計値である。

※ 常任委員会委員長は、通例委員会質疑は行わない。

決算特別委員会



平成22年10月12日から15日までの4日間、平成21年度決算に対する決算審査特別委員会が開催されました。私は、平成19年度以来3年ぶりの委員に選任されました。これまでは、まず、決算書に掲げられた費目の状況について、担当部長からその概要説明を受けた後に質疑を行っていましたが、決算数値の読み上げのようなところがあり、委員長提言により、概要説明を省略してすぐに質疑に入り、質疑時間の確保及びスムーズな運営が行われました。この委員会は、予算がその目的通りに執行されたのか、また、その効果についてはどのようになっているのかに主眼を置いて審査しますが、予算執行過程の状況についても詳細な説明を求めます。私は、会派を代表し、まず総括質疑を行い、続いて多くの費目について、予算審議時の委員会議事録も参考にしながら質疑を行いました。内容によっては、かなり厳しい指摘をした項目も多々ありました。これらの審議内容については平成23年度予算の審議に活かしてまいります。

会派・常任委員会行政視察

10月には、会派行政視察として、高知市、丸亀市及び倉敷市を訪問しました。会派視察は4つの常任委員会の所管事項が視察できるように企画しています。高知市では、人材育成施策を、丸亀市では2学期制及び溶融方式によるごみ焼却施設の現状を、倉敷市では入札に係る先進的な取り組みについて視察しました。11月には、文教常任委員会として多治見市と四日市市を訪問しました。両市ともに、早くから行政改革を進めている市であり、そのような市における教育の実情を直接聞いてみたいという思いから、委員長としての私の強い希望で選択し、実施したものでありました。多治見市では、子どもの自立「子育て」を支える教育の推進について、教育長さん自らが熱心に説明をしていただきました。また、四日市市では、特にPFI方式による学校施設整備について、担当



者の本音のお話を聞くことができ、有意義な視察であったとの自己評価をしています。これらの行政視察で吸収したことは、今後の寝屋川市政運営の向上に資する提言等に活かしてまいります。

JR四国は、アンパンマンの作者であるやなせたかし氏の協力のもと、四国の活性化の一環として、アンパンマン列車を運行しています。車体や車内の座席に描かれており、子どもたちは大変よろこんでいました。岡山から高知への移動時に乗車しました。